

# ◆ 「『対話的な学び』を具現する授業デザイン例」について

令和6年度の相双教育アピールのキャッチフレーズは、「未来を拓く教育を 相双から」です。

令和5年度までの新しい学びのかたちの実現に向けた取組を継承しつつも、今後は日々の学びを通して、子どもたちが自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていくことを目指していくことが必要であると考え、キャッチフレーズを決定しています。

そこで令和6年度は、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に向けて、特に「対話的な学び」に焦点を当て、授業展開の一例などを示した「『対話的な学び』を具現する授業デザイン例」を作成しました。相双教育アピールとともに、日々の授業づくり及び校内研修等にご活用ください。

## 「対話的な学び」を具現する授業デザイン例（各教科）

### 外国語

Foreign language



「対話的な学び」を具現する授業デザイン例  
福島県教育庁相双教育事務所

▶ 学年 小学校 第5学年  
▶ 単元 He can bake bread well.

**POINT 01** 対話的な学びを引き出す教師の仕掛け

この単元は、「来日間もないALTに私たちの学校の先生をもっと知ってほしい」という児童の思いを基に、先生方についての紹介カードをつくり、ALTにより詳しい情報を伝えることを通して、英語に慣れ親しむことをねらいとしている。児童は、「Can you ~?」を用いていろいろな先生にインタビューを行い、詳しい情報を集めた。その後、タブレット端末（以下、TPC）を使い、カードに新しい情報を付け加え、ALTに英語で伝えられるよう整理した。本時では、児童が「どのように英語で表現したらよいか？」と考え始め、TPCを活用し、一人でじっくり思考したり、お互いの考えを聞き合ったりするなど、以下のような対話的な学びが展開された。

**POINT 02** 対話的な学びの様子

◎TPCを活用し、自分の作成した先生紹介カードを基に、対話をしながら情報を整理する。

教師「作ったカードを読み合い、知っていることや気付いたことをコメントして送り合おう。」

原「『Mr.Suzuki can play soccer. He can run fast. He can ride a bike.』よし！できたぞ。」(☑→児童B)  
B「なるほど。鈴木先生はサッカーもできるし、足も速いのか。そっか！鈴木先生は料理が得意」ということもわかった。」(☑→児童A)  
A「先生も得意なのか。英語でどう表現すればいいのかな…。ないかな。」  
B「たね。それでいいのか調べてみよう！」

※(☑→児童○)は、児童○に「～」についてタブレットでメッセージを送ったことを示している。



「POINT 02」においては、授業での児童生徒の対話的な学びの様子を、「対話形式」にて記載しています。

「POINT 03」では「対話的な学び」を通して、集団や個人の学びがどのように深まっていったのかについて記載しています。

**POINT 03** 学びが深まった児童生徒の姿

この授業では、既習事項を用いて自分が伝えたい内容を英語で表現できること、新しい英語表現に出合ったりしながら、課題解決に向け主体的に取り組むことができた。さらに、英語で表現したらいののかな？」とお互いの考えに寄り添い、一緒に調べたり、考えを聞き合ったりして、自らの考えを発展させながら課題解決にたどり着くことができた。

ICTに詳しい。  
⇒ I'm familiar with ICT. (TPCの翻訳機能を使用)

児童D「見せて。たしかに分らないね。どうしようか。」  
児童E「TPCの音声読み上げ機能を使って聞いてみよう。」

QRコードより、児童が対話している場面と授業解説の動画が視聴できます。

—『授業者の視点』—L、M  
(相双教育アピールより)  
児童が伝えたい「内容」だけではなく、伝えるための「英語表現」も思考・判断することで、対話的な学びを活性化させる。

令和6年度は、以下の8つの授業デザイン例を作成しました。

- 国語(中学校3学年)
- 算数(小学校6学年)
- 理科(小学校4学年)
- 生活(小学校1学年)
- 図画工作(小学校1・2学年)
- 体育(小学校5・6学年)
- 外国語〔英語〕(小学校5学年)
- 特別の教科道徳(中学校3学年)

「対話的な学び」を充実させていくためにも、教師の仕掛けが重要になります。「POINT 01」では、本時において教師がどのような仕掛け（授業展開、関わり、ツール、学習形態など）を仕組んでいるのか解説しています。

令和6年度相双教育アピール（授業づくり編）に掲載されている「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた『授業者』の視点（A～U）」を踏まえて、授業デザイン例を作成しています。

「外国語」「特別の教科道徳」「算数」の授業デザイン例では、児童生徒の「対話的な学び」の様子を、QRコードを読み込むことで授業の一部を視聴することが可能です。ぜひご覧ください。

